

総合地球環境学研究所

2023 年度 (令和 5 年度) フェローシップ外国人研究員の募集について

1. 募集要項

※ 新型コロナウイルス感染症に関する状況の推移及び当該年度の予算状況により、本募集要項の記載事項に関する取扱について、柔軟な対応を行うことがあります。

◆フェローシップ外国人研究員の目的

地球研のフェローシップ外国人研究員制度は、海外の研究者が2ヶ月～6ヶ月滞在し、所の研究プログラム、プロジェクト又は研究基盤国際センター及び経営推進部の各室に関連した特定の研究に従事して頂く制度です。

◆選考基準

申請書は以下の選考基準に基づき審査されますので、申請者はこれらを考慮に入れ準備をおこなってください。

1. 申請書は申請者が希望するプログラム、プロジェクト、もしくは室の内容や方向性に合致しているか。
2. 研究計画は一貫性があり、適切に準備されているか。
3. 期待される成果は明記されているか。
4. 申請者の学力や経験等がプロジェクト等との連携に十分なものであるか。
5. 受入研究者は申請書の提出前に情報提供をうけ、研究計画に同意しているか。(申請者に受入教員がない場合は、1ポイントになります)

* 予定受入教員がない場合は、以下のリストを参照の上、申請前に国際交流係までご連絡下さい。

◆研究組織及び受入教員

申請者は地球研の受入教員と事前に協議し、滞在中の研究計画や活動計画を作成して下さい。事前に受入教員と連絡済みであることが想定されますが、参考までに受入教員の担当が可能な者を以下に記載しています。受入教員との協議については、申請書の提出期限の2週間前までに開始して下さい。下記教員との連絡をご希望の方は、kokusai@chikyu.ac.jpにEメールをお送り頂ければ転送いたします。

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

研究プログラム及び研究プロジェクト

実践プログラム	
環境文化創成プログラム	
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/program/01/
研究キーワード	科学と文化の対話
プログラム ディレクター	松田 素二 特任教授 — 社会人間学
プロジェクト	グローバルサプライチェーンを通じた都市、企業、家庭の環境影響評価に関する研究
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/08/
研究キーワード	Supply chain, MRIO, environmental impacts
プロジェクト リーダー	金本 圭一郎 准教授 — 産業エコロジー、環境経済学
プロジェクト	高負荷環境汚染問題に対処する持続可能な地域イノベーションの共創
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/09/
研究キーワード	Transdisciplinarity, Environmental impact assessment, Sustainable regional innovation, Environmental pollution
プロジェクトリー ダー	榊原 正幸 教授 — 環境影響評価学、環境修復学、地球科学、 トランスディシプリナリー研究
プロジェクト	大気浄化、公衆衛生および持続可能な農業を目指す学際研究：北インドの糞焼きの事例
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/10/
研究キーワード	Air pollution, Public health, Agricultural Burning, Sustainable Agriculture
プロジェクトリー ダー	林田 佐智子 教授 — 大気環境科学、リモートセンシング

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

プロジェクト	社会生態システム転換における衡平性： 熱帯森林フロンティアの政治・権力・不確実性
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/11/
研究キーワード	Deforestation, equity, politics and power, social-ecological systems
プロジェクトリーダー	Grace Wong 准教授 - 資源経済、政治学、開発学
プロジェクト	陸と海をつなぐ水循環を軸としたマルチリソースの順応的ガバナンス：サンゴ礁島嶼系での展開
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/12/
研究キーワード	Coral reef, Multiple resources, Land-sea linkage, Biocultural diversity, Bridging knowledge, Adaptive governance, Visualization
プロジェクトリーダー	新城 竜一 教授 - 岩石鉱物学、地質学、地球科学、同位体地球化学
プロジェクト	人・社会・自然をつないでめぐる窒素の持続可能な利用に向けて
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/17/
研究キーワード	Food, Industry, Energy, Nitrogen issue, Nitrogen management, Nitrogen pollution
プロジェクトリーダー	林 健太郎 教授 - 生物地球化学、土壌学

戦略プログラム	
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/staff/taniguchi/
研究キーワード	Transdisciplinary, Science in society, Basic concepts and methodologies
プログラムディレクター	谷口 真人 教授 - 水文学
プロジェクト	フューチャー・デザインを通じた持続可能社会実現のための未来ビジョンの形成と多元的共存
情報	https://www.chikyu.ac.jp/rihn/activities/project/project/16/
研究キーワード	Future Design
プロジェクトリーダー	中川 善典 教授 - フューチャー・スタディーズ、質的研究

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

研究基盤国際センター

室	計測・分析室
機能	同位体分析装置を利用した環境に関する学際的共同研究を行う。
研究キーワード	Isotope environmental study, Multi-isotopes
メンバー	陀安 一郎 教授、センター長、室長 - 同位体生態学、同位体環境学 申 基澈 准教授 - 岩石学、地球化学、同位体地質学
室	情報基盤室
機能	所内ネットワークや各種サーバなどの情報インフラの整備や運用について、室スタッフの技術や知識を生かして貢献する。
研究キーワード	Semantic web, Ontology, Learning support systems, Database science
メンバー	熊澤 輝一 准教授・室長 - 地域計画学、環境情報学 松本 多恵 准教授 - 教育工学、情報学
室	連携ネットワーク室
機能	地球研と国内外の研究機関、組織との研究機関と、人材育成基盤の整備を推進する。
研究キーワード	Research networking
メンバー	石井 励一郎 准教授・室長 - 生態系と生物多様性に関する理論・モデリング研究
室	国際交流室
機能	Future Earth を含む様々な国際ネットワークと連携し、Future Earth 国際事務局日本ハブを運営している。
研究キーワード	Future Earth
メンバー	Ria Adoracion Apostol LAMBINO 特任准教授・室長 - 環境ガバナンス、天然資源管理、持続可能な開発、 トランスディシプリナリティ (超学際性) 大西 有子 助教 - 超学際研究、共創手法、生態系保全、温暖化影響評価

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

経営推進部

室	IR 室
機能	地球研の研究教育活動の強み・特色と課題等を検証可能なデータに基づいて分析・可視化することにより、経営方針及び研究戦略の策定にかかる所長の意思決定の支援を行う。
研究キーワード	Institutional Research, Research Evaluation
メンバー	近藤 康久 准教授・室長 - 考古地理学、チームサイエンス科学 若松 永憲 特任助教 - 考古地理学、チームサイエンス科学
室	広報室
機能	イベントやソーシャルメディア（SNS）などの双方向性の高いコミュニケーション手法や、映像プログラムも含むウェブサイトコンテンツの作成と運営、出版物の発行、マスメディアを活用した手法により広報業務を推進する。
研究キーワード	Public Relations, Communications
メンバー	岡田 小枝子 准教授・室長 - 生物応用化学
室	コミュニケーション室
機能	地球研の研究、市民及び特定のユーザーを持つコミュニティを繋ぐ様々なコミュニケーション戦略を開発する。
研究キーワード	Environmental Education Communication, Environmental Studies, Knowledge networks
メンバー	阿部 健一 教授・室長 - 相関地域学
室	国際出版室
機能	地球研における超学際研究の国際的出版を推進し、国際交流活動における地球研のプレゼンスの向上に寄与する。
研究キーワード	サイエンスコミュニケーション、科学イラスト、視覚コミュニケーション、科学の一般理解、超学際的研究
メンバー	Daniel Niles 准教授・室長 - 人間環境地理学

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

◆受入期間

受入期間は 2023 年度 (2023 年 6 月 1 日-2024 年 3 月 25 日) における 2 ヶ月以上 6 ヶ月以下とします。

◆期待されること及び義務について

フェローシップ外国人研究員は地球研のプログラム、プロジェクト又は研究基盤国際センター及び経営推進部の各室に関連した特定の研究に携わることや地球研の教職員やスタッフとの関わりが期待されています。なお、以下の 2 点については、義務となっています。

1. 地球研セミナーで 1 回以上の研究発表または講演

地球研セミナー：<https://www.chikyu.ac.jp/publicity/events/rihn-seminars/>

2. 活動報告書の提出

◆応募資格

- ・博士の学位またはそれに相当すると認められる資格を有していること
- ・海外の研究機関で雇用されている研究者（日本国籍保持者を含む）又は、日本の大学や研究機関で雇用されている外国人研究者（申請者は、地球研での滞在期間終了後まで、自国での雇用が継続することを前提とします）

◆経費

地球研が定める規程により、滞在費（宿泊費及び日当）を支給します。支給額は下記の通りです。

支給額： 237,000 円（滞在 30 日あたり）

※規程により、滞在費の支給額は、滞在期間が 30 日を超える期間は上記支給額の 90%、60 日を超える期間は上記支給額の 80%となります。

フェローシップ外国人研究員は、割引料金で地球研ハウスに滞在することができます。

◆渡航費等

所属機関から地球研までの往復 1 回分の旅費（エコノミークラス）を支給します。

◆新型コロナウイルス検疫措置に必要な費用

所属機関から地球研までの往復 1 回分に関して、以下を含む、新型コロナウイルス検疫措置に必要な費用を地球研が定める規定の範囲内で支給します。

- ・日本入国後の待機期間の宿泊費
- ・往復に必要な新型コロナウイルス感染症に関する検査費用、および、陰性証明書の取得費用

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

◆保険

来日前にご自身で海外旅行保険等にご加入下さい。滞在期間が3か月を超える場合は、国民健康保険への加入が必要です。

◆研究費

150,000 円の研究支援経費の利用が可能です。

◆宿泊

地球研ハウス（敷地内）に、割引料金で滞在することができます。

◆所内施設の使用

座席、電話（PHS）、所内カードキー及びインターネットアクセスを提供します。

◆研究時間及び休暇

フェローシップ外国人研究員は地球研で雇用されていないため、研究時間や休暇については特に定められていません。参考までに地球研のサポートスタッフの業務時間は平日午前 8:30 - 午後 12:15 及び午後 1:00 - 午後 5:00 となっています（祝祭日、夏季一斉休業日、年末年始休業日を除く）。

2. 応募方法

◆締め切り

2022 年 11 月 4 日（金）（必着）までに、応募に必要な書類を電子メールにて上記提出先へ提出してください。

◆提出書類

1. 2023 年度用所定様式の願書
2. 以下の情報を記載した CV：
 1. 主な研究分野、学位、取得年月日
 2. 職歴
 3. 主な出版物一覧（査読付きかどうか記載）
3. 応募者の所属機関からの在職証明 1 通（書式は任意）

※地球研滞在時（2023 年度）に所属機関に雇用されていることを証明するもの。日本語または英語以外の言語の場合は、日本語または英語の公的翻訳を添付のこと

4. 応募者の経験や能力を評価できる立場にある方からの推薦状。このレターは推薦者から直接

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

kokusai@chikyu.ac.jp (国際交流係) に送ってください。

《注意事項》

- 書類は日本語または英語で作成してください。
- 本研究所指定の 2023 年度用願書 (コピー可) 以外の様式による申し込みは認めません。
- 在職証明書の発行を依頼する際、次のことを所属機関に説明する必要があることにご留意ください。
①本制度に応募すること
②採択された場合、申請期間において一時的に地球研に滞在すること
在職証明書は PDF 形式で申請者もしくは所属機関より電子メールにて提出してください。なお、他の目的のために利用したものは受理いたしません。
- 受入教員との協議については、申請書の提出期限の 2 週間前までに開始して下さい。
- 書類の不足、不備、虚偽、また、求められていない書類の提出がある場合は審査対象としません。
- 提出書類は返却しません。なお、個人情報の取扱いについては、国内関連法規を遵守し、取得した個人情報はフェローシップ外国人研究員制度の業務履行以外には利用しません。

3. 募集から選考までのスケジュール

フェローシップ外国人研究員候補者の選考・採択手続きは 11 月から 1 月にかけて行います。選考結果は所内での選考会議終了後、2023 年 3 月末までに国際交流係を通じて応募者全員に連絡します。フェローシップ外国人研究員の選考は競争的であること、また当該年度の研究所予算の都合及び新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、実施されない可能性があることにご留意ください。また採否に関することや選考理由の詳細についての問い合わせには応じられませんのでご注意ください。

2022 年 9 月 13 日 (火) ～11 月 4 日 (金)	応募期間 募集要項や申請書は地球研のウェブサイトで公開されます。
2022 年 11 月 4 日 (金)	応募締切 申請書は国際交流係 (kokusai@chikyu.ac.jp) に締切日必着でメールにより送付ください。 ※受入教員との協議については、本期限の 2 週間前 (2022 年 10 月 21 日) までに開始して下さい。

フェローシップ外国人研究員(Visiting Research Fellows) 募集要項 (2023 年度)

2022 年 11 月中	書類受理通知 応募者全員に書類受理についてメールで通知します。
2022 年 11 月～ 2023 年 1 月	審査および選考 提出された書類によって審査を行い、所内会議での選考を経てフェローシップ外国人研究員を決定します。
2022 年 1 月	審査結果の通知 国際交流係から地球研の受入教員に結果を連絡します。
2023 年 3 月	正式通知 予算の内示後に、採択者に正式に結果を通知します。
2023 年 3 月以降	採択されたフェローシップ外国人研究員に、国際交流係から来日手続の詳細を連絡します。 (ビザ申請などの来日手続は来日約 3 ヶ月前より順次開始します。)
2023 年 6 月以降	地球研での研究開始のため順次来日を開始していただきます。

《注意事項》

- ・新型コロナウイルス感染症に関する状況の推移及び当該年度の予算状況により、本募集要項の記載事項に関する取扱について、柔軟な対応を行うことがあります。

問い合わせ先：

総合地球環境学研究所 管理部総務課

国際交流係

Tel: +81-(0)75-707-2152

Email: kokusai@chikyu.ac.jp